



平成18年 1月編集・発行
平成21年 1月改訂
平成24年 9月改訂
令和 8年11月改訂
仙台市こども若者局
幼稚園・保育部 運営支援課



とっておきの子育ての話

保育者からの
メッセージ



やってみたい！を
応援しよう

「なにしてるの？」「やってみたい！」
こどもは、おうちの人がしていることに
興味津々です。

大人にとっては何気ないことでも、
こどもにとっては新しい発見や楽しさが
たくさんあります。こどもの「やってみ
たい！」を応援してみませんか？

「やってみたい！」は 最初の一步

「自分でやってみたい！」

そんな気持ちから、こどもは様々なことに挑戦します。

「やってみたい！」という気持ちは、学びや成長の大切な出発点です。

うまくできるだけでなく、難しさや失敗も含めて、一つ一つの経験が積み重なり、こどもの育ちへとつながっていきます。

「やってみたい！」を応援するポイント

1. 「できそう！」と思えることから

最初は、簡単なことから始めるのがおすすめです。「できた！」という経験が、次のやる気につながります。

2. 大人も一緒に

こどもはおうちの人と一緒にやること、見ていてもらうことが大好きです。さりげなく手を貸したり、見守ったりしながら、親子で楽しめるといいですね。

3. 挑戦したことを認める

うまくできなくても、やってみようとした気持ちを大切にしたいですね。



こんなお手伝いが おすすめです

○洗濯物を取りこむ

○タオルをたたむ

○靴をそろえる

○花や野菜に水をやる

○食器をならべる

○テーブルをふく

○カーテンの開け閉め

お手伝いって
なんだか楽しい！



手伝ってくれて
ありがとう



「できた！」という喜びや「ありがとう」と言ってもらえる嬉しさは、こどもの自信につながっていきます。

忙しい毎日の中では「今は時間がない…」「自分でやった方が早いな…」と感じることもあるかもしれませんが、できる時に、できることから無理なく取り入れて、こどもの「やってみたい！」を応援していけるといいですね。